

# 大麻高区配水池No.3築造工事

水道部水道整備課

# 説明内容と流れ

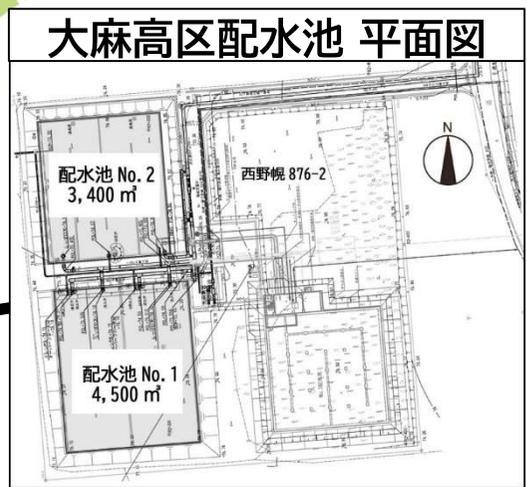
- 配水池の位置と配水区域
- 大麻高区配水池の概要
- 計画の経緯
- 工事概要
- 施工状況
- まとめ

# 配水池の位置

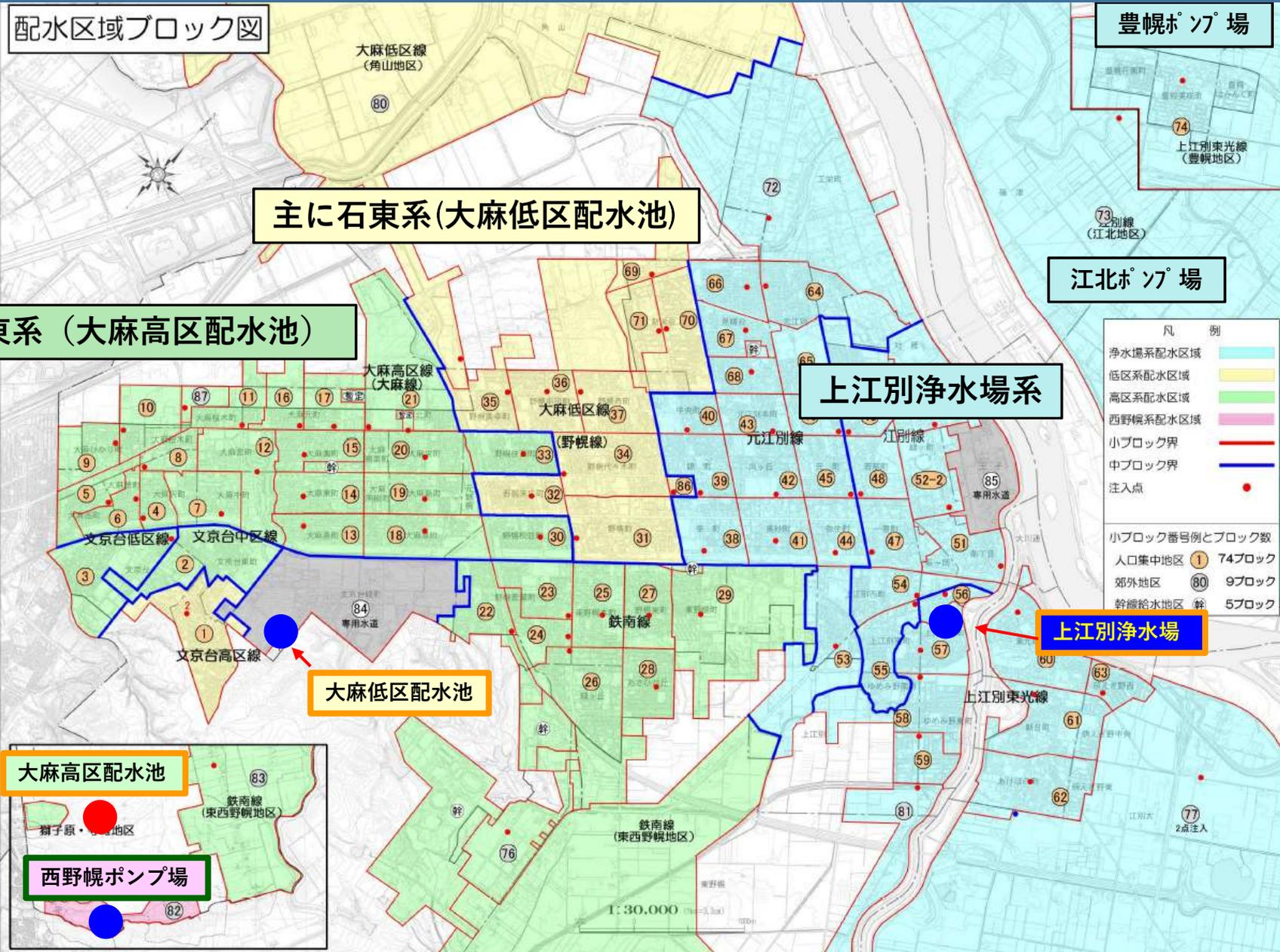


漁川浄水場(企業団)から  
20,000m<sup>3</sup>/日 受水

千歳川浄水場(企業団)から  
100m<sup>3</sup>/日 受水



# 配水区域



この地図は昭和三十二年都市計画概況図を使用したものである。

# 大麻高区配水池の概要

- 石狩東部広域水道企業団より1日に20,000m<sup>3</sup>を受水
- 主に大麻地区と鉄南地区(野幌駅南側)に配水
- 大麻低区配水池に送水
- 市内の給水量の約70%を賄っている  
(R6一日平均給水量28,792m<sup>3</sup>)

# 大麻高区 配水池の 概要



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/top.html>)  
地理院地図(写真)を加工して作成

# 大麻高区配水池の概要

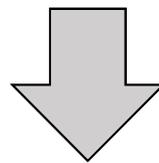


# 計画の経緯

- H23年度 基幹管路等耐震化計画策定
- ~H30年度 各施設の耐震診断  
→耐震診断の結果、大麻高区配水池は耐震性能が不足
- R1年度 江別市上下水道ビジョンで大麻高区配水池を耐震化する方針を決定
- R4年度 施設の更新・耐震化計画策定

# 計画の経緯

- ① 既設配水池を耐震補強するには、片方の配水池を長期間休止する必要があるため、通常時はもとより、緊急時の対応が困難
- ② 既設配水池を耐震補強しても耐用年数が伸びるものではない
- ③ 現状の配水池は受水量の12時間分の容量を満たしていない



不足分の容量に対し、耐震性のある配水池を新設することで耐震化を図る

→配水池No.3を増設

→R8年度供用開始予定

# 工事概要

- 大麻高区配水池No.3築造工事

工 期:令和6年12月～令和8年11月まで

工事内容:配水池RC造(有効容量2,500m<sup>3</sup>) 外

- 大麻高区配水池No.3場内配管布設工事

工 期:令和7年9月～令和9年3月まで

工事内容:管布設φ200mm～φ700mm  
緊急遮断弁1基

- 大麻高区配水池No.3築造 機械電気設備工事

工 期:令和7年10月～令和9年3月まで

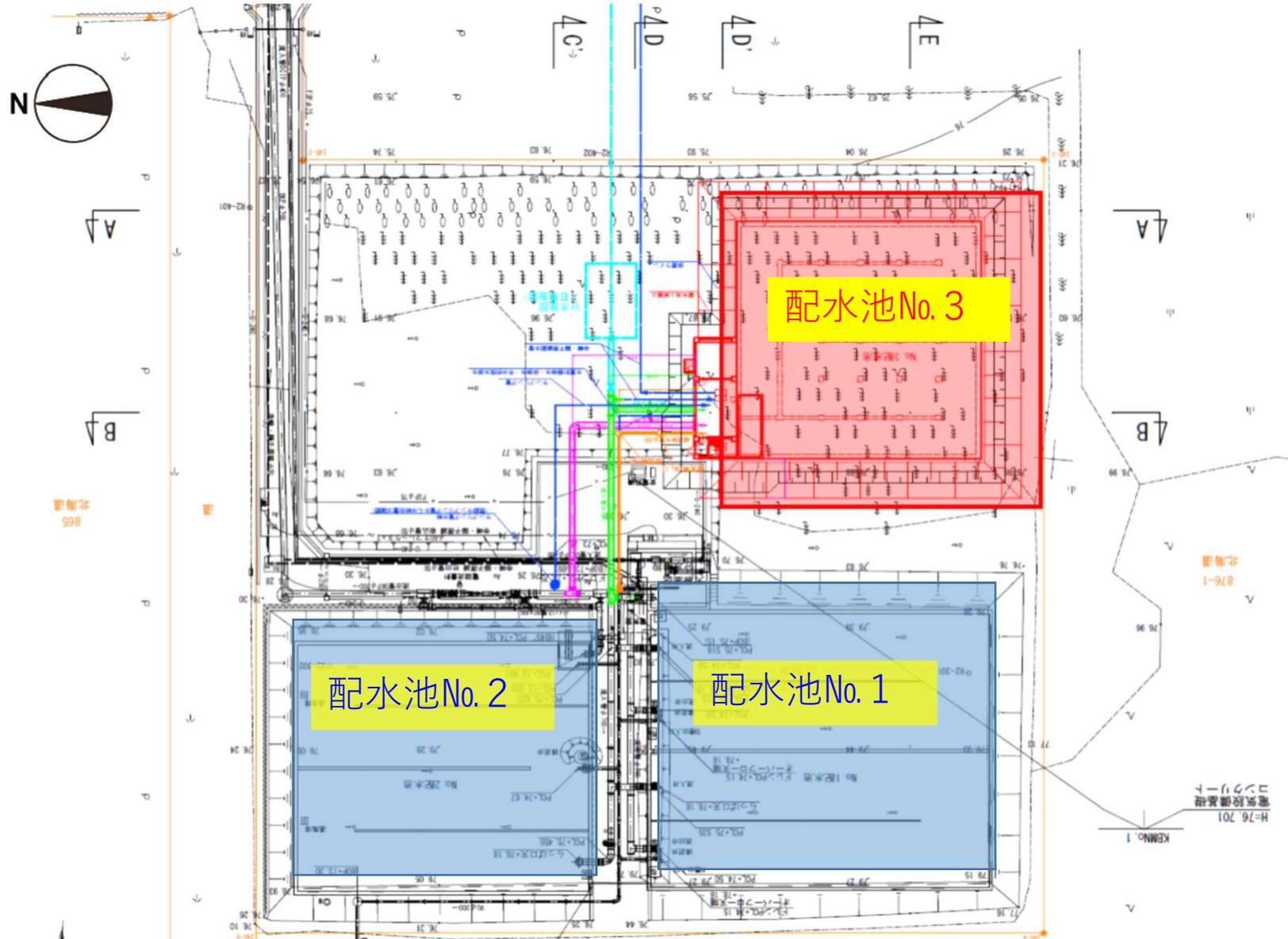
工事内容:各種電気計装盤、各種計測機器 外

- 大麻高区配水池No.3連絡管外布設工事(予定)

工 期:令和8年3月～令和9年3月まで

工事内容:管布設φ200mm～φ700mm

# 工事概要



# 施工状況①



R7年1月  
(準備工)



R7年2月  
(躯体築造部掘削)

# 施工状況②



R7年3月  
(躯体基礎整正)



R7年4月  
(躯体基礎均しコンクリート)

# 施工状況③



R7年5月  
(足場工)



R7年6月  
(型枠・鉄筋工  
:底版・壁・柱、底版コンクリート工)

# 施工状況④



R7年7月  
(型枠・鉄筋工:壁・柱)



R7年8月  
(型枠・鉄筋工、コンクリート工:壁・柱)

# 施工状況⑤



**R7年9月**  
(型枠・鉄筋工、コンクリート工:壁・柱)



**R7年10月**  
(型枠・鉄筋工、支保工:梁・頂版)

# 施工状況⑥



R7年11月  
(型枠・鉄筋工、支保工、コンクリート工  
:梁・頂版)

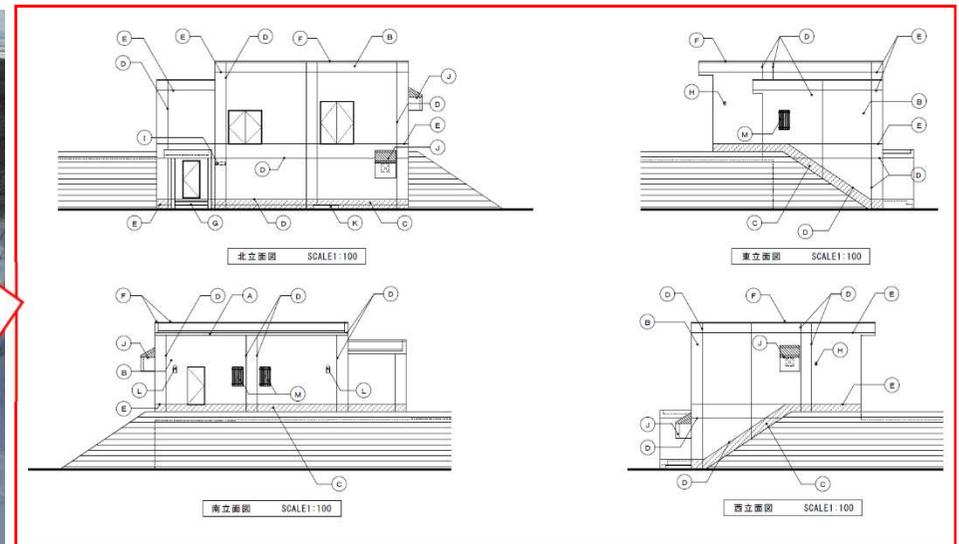


R7年12月  
(躯体水密試験、埋戻工)

# 施工状況⑦

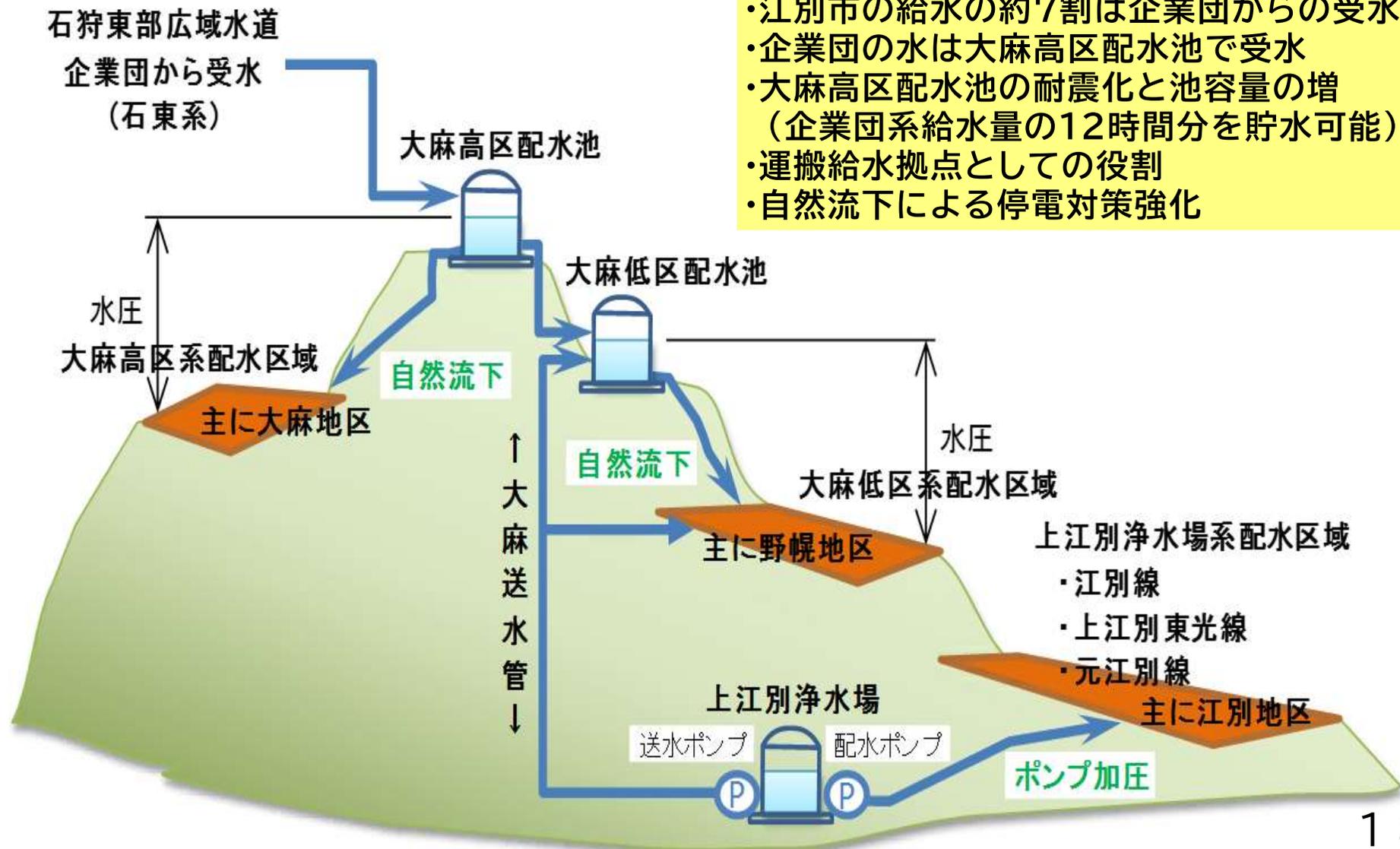


R8年1月末現在  
(安全管理工、書類整理工)



R8年度予定  
(建築上屋)

# まとめ



- ・江別市の給水の約7割は企業団からの受水
- ・企業団の水は大麻高区配水池で受水
- ・大麻高区配水池の耐震化と池容量の増  
(企業団系給水量の12時間分を貯水可能)
- ・運搬給水拠点としての役割
- ・自然流下による停電対策強化

ご清聴ありがとうございました